

芭蕉は等躬と句会を3回開きました。

「長途のくるしみ、身心つかれ、
且は風景に魂うばわれ、懐旧に
腸を断て、はかばかしく思ひめ
ぐらさず

風流の初やおくの田植うた
無下にこえんもさすがに」と
語れば、脇・第三とつゞけて、
三巻となしぬ。

「おくのほそ道」須賀川の章の
一文より

※脇・連句の第二句目
いちごを折りて我まうけ草 等躬

※第三・連句の第三句目
水せきて昼寝の石やなほすらん 曾良

先人をしろう 四 相楽等躬④

「なかなかいい句が浮かびませ
んでしたよ。くたびれていたし、
あまりの風景に心もうばわれて
しまつて。むかし、ここをうたつ
た人たちのことを思うと、胸もい
っぱいになってしまいました。
それでもさすがに一句も詠まな
いのもなんですから」

風流の初やおくの田植うた
と答えたら、これを発句にして歌
仙をまくことになりましたよ。
第三と続けて三巻よみましたよ。

※ 風流(俳諧興行)の始まりは田植
唄の興で始めましようか。田舎
ですの、今夜の馳走は木いち
ごにいたしましよう。 等躬

※ 水をせき止め石の位置を変えて
昼寝の準備でもしましようか。

等躬に「たくさんいい句はできま
したか？」と聞かれ、芭蕉はこう
こたえました。



「はじめての俳句塾」が終わりました。

講師に高久田稔先生、
会長は三瓶真弘さんの第一期生
9人で俳句団体「虹の会」とし
て活動していきます。

三回にわたる「はじめ
の俳句塾」が終了。
塾生の皆さんは、伝統
的な俳句を鑑賞しながら
も、伸びやかに身近な日
常を俳句に詠み、背伸び
せずこれからも愉しんで
いくため、そして「心に
虹」をかける気持ちで、
日常のちよつとしたひと
時に俳句と触れ合うため
に会をつくりました。

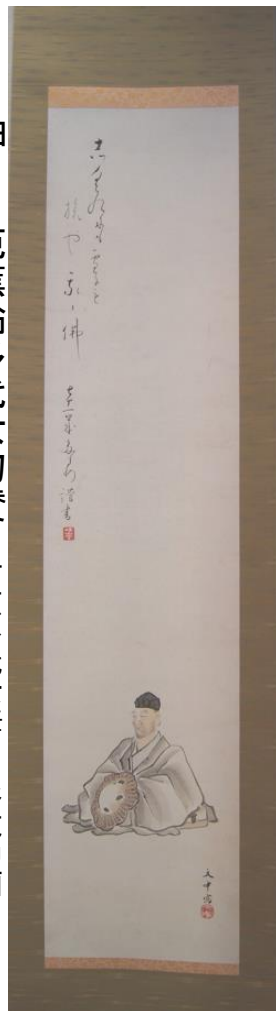
江戸時代の女流俳人、市原多代女が七十一歳のときに、尊敬する
師(芭蕉)を偲んで詠んだ句です。
芭蕉ほど多くの人々から尊敬と親愛の念をもって慕われた俳人
はいないでしょう。在世中から芭蕉の画像は描かれており、その肖
像は画家の感情と認識が主体的で千差万別です。

この画の中で芭蕉の面影は明瞭に描かれ、笠を持ち、頭巾、道
服をきた老相ですが、中肉中背で、やや細長の目で高い鼻が印象的
であり、芭蕉その人の人となりが浮かび上がってきます。

たにぶんちゆう
幕末から明治に
かけての画家。
たにぶんちゆう
谷文晁の孫。

軸 芭蕉翁多代女句賛 市原多代女筆 谷文中画

〈しぐれにも雪にも旅や我が仏〉



収蔵品の紹介

冬休み子ども俳句出前教室

例年、夏休みに行われる俳句出前教室、今年は冬休みにも実施しました。

▼ぼたん児童館12/26(火)
▼稲田児童クラブ館 28(木)



深谷栄子先生

高校生もお手伝いしてくれました

冬の季語はこんなにたくさんあるんだね

先生とおしゃべりをしながらの俳句づくり。何が楽しかった？その時どんな気持ちだった？ほら575になった！そんな楽しい時間で出来た冬の俳句を少し紹介します。

ゆきががっせんやったらたのしいゆめのなか
おとしたまおきなきいふじゆんびした
ふゆ休みゲームをやっておこられた
ゆきだるまにじんつけてオラフだよ
だいすきなおかあさんつくるキムチなべ
おとしたまおちばの下におちていた
ゆきだるまこのままずっととけないで
ばあちゃん雪でかまくら作るうね
お正月家族ですこす6日間

1年 1年 1年 2年 2年 2年 3年 3年 4年



なん句つくれるかな



江藤文字先生

花丸たくさんもらえたかな



佐藤秀治先生

一句一句みてくれるよ



色紙に俳句と絵を添えて出来上がり

おもしろい俳句

雪 ゆき

いぎ行かん雪見にころぶところまで 芭蕉
雪がふると、すってんころりんと転ぶまで
雪見に出かける心おどる気持ち伝わります。
うまそうな雪がふうわりふわりかな 一茶
子どものころ、わたのような雪を大きな口を
あけて受けとめたりしませんでしたか。
福助のお辞儀は永遠に雪が降る 真理子
いつもお辞儀をしている福助の目の先は雪。雪は
いつか止むけど、福助はずっとお辞儀をしています。

ふわりふわり、こん
こん、しんしん、ちら
ちら、はらはら、ひら
ひらと雪の降り方は
色々ありますね。
あわ雪、ぼたん雪、
こな雪、吹雪、銀雪、
忘れ雪：雪に関する
言葉が数えきれない
ほどあるのは、人々が
つねに自然と寄りそ
った生活をしてきた
からでしょう。
言葉一つで俳句の
情景もちがって
みえてきます。

芭蕉くいず

- 1 等躬さんは、なんの仕事をしていた人？
① 医者 ② 問屋を営む商人 ③ そば屋
- 2 芭蕉さんにとって等躬さんは何でしたか？
① 弟子 ② 旧友 ③ 師匠
- 3 芭蕉さんが「へおくのほそ道」の旅で行って
いない今の県は？
① 新潟 ② 青森 ③ 岐阜
- 4 つぎのうち冬の季語はどれかな？
① 甘酒 ② うさぎ ③ 相撲
- 5 空いているところには何がはいるかな？
□と□の世の中よかれ酉の年 芭蕉
① 羊といのしし ② 犬と猿 ③ 猫とねずみ

8月19日は「俳句の日」。
「夏休み中、子供たちに俳句を
親しんでもらう日」と1991
年に制定されたんだよ。

芭蕉くいず
こたえ ぜんぶ②

言の葉

二十四節気
小寒(1月5日〜20日ごろ)
小寒とは「寒の入りと言われ、寒
さが本格的になるころ」です。
冬のもっとも寒い時期が大寒
(1月20日〜2月3日ごろ)です
が「小寒の氷、大寒に解く」とい
うことわざがあるように、むしろ
小寒のほうが凍てつく寒さじゃな
いか、ともいわれています。

【須賀川市芭蕉記念館かわ
ら版第9号】をお届けし
ます。
今月は、俳句ポスト選句会が
行われます。
くすつと笑える句、ハツとさ
せられる句や俳句に教えられる
ことばかり。今回もどんな句が
届くかなあき楽しみです。

投句募集

俳句
ポスト

第二回×切は1/16です。